

統合生命科学特別講義Ⅲ（1単位）のお知らせ

テーマ：

『ノダル経路による内臓の左右非対称、そしてヒラメ・カレイの眼位の調節』

講 師： 鈴木 徹（東北大学大学院農学研究科 教授）

授業の概要：

ゼブラフィッシュとメダカが発生のモデル生物として最近広く利用されているが、非モデル生物の魚類にも多くの興味深い発生現象が見られる。ヒラメ・カレイの外見的な左右非対称性形成もその一つである。ヒラメとカレイも初期仔魚の時期は、内臓は既に非対称性を形成しているものの外見は完全に左右対称である。変態期にヒラメでは右眼、カレイでは左眼が顔面の反対に移動し、有眼側が着色することで体全体が左右非対称となる。モデルフィッシュによる研究により、ノダル経路による内臓と脳の非対称性の制御機構、*zic1* 遺伝子による背腹の体色パターン形成機構が解明されている。本講義では、これら発生の分子調節機構とヒラメ・カレイの眼位と体色の非対称性形成との関連を中心に解説する。

授業の進め方：講義

対 象： 大学院生・4年生

日 時： 7月7日 13:00-17:00（セミナー）
7月8日 9:00~10:20
10:40~12:00
13:30~15:00

場 所：理学部 生物第3講義室（遠隔講義は行いません。）

=====

7月7日午後のセミナー（ミニシンポジウム）も講義の一部として行います。

タイトル：『脳とからだの非対称性を生みだすしくみ』

場 所：理学部 生物第3講義室

人数の把握のため、受講希望者は、7月1日までにシステム生命科学府事務室に申し込んで下さい（当日の受講も可能です）。

連絡先：伊藤 功（理・生物・生体物理化学研究室 内線 2631）